

# MOMAT SCHOOL PROGRAM

東京国立近代美術館のスクール・プログラム



MOMAT

The National Museum of Modern Art, Tokyo

## 東京国立近代美術館のスクール・プログラム

多くの子どもたちに、鑑賞することの楽しさを伝えたい—東京国立近代美術館はこの願いをこめ、学校と連携してさまざまな**スクール・プログラム**を行っています。

当館のスクール・プログラムは、対話によって子どもたちの思いや考えを引き出す**ギャラリートーク**を基本に展開しています。ギャラリートークで子どもたちは、作品をよく観察し、さまざまなことを考え、それを話したり友だちの意見を聞いたりします。この「見る」「考える」「話す」「聞く」の循環の中で、子どもは多くの発見をし充実感を味わいます。この方法は、**新しい学習指導要領**でも触れられている「話し」「話し合い」「批評し合う」ことを取り入れ、**言語活動を充実**させつつ視覚的な読解力を養うものでもあります。

また、スクール・プログラムでは、個々の作品情報や知識を教えるよりも、子どもたち自身が目の前の作品から特徴をつかみ取り、イメージを広げることを大切にしています。初めて出会う作品にも、**興味を持って鑑賞しようとする気持ち**を育てたいと考えるからです。

ギャラリートークは、トレーニングを受けた解説ボランティア（東京国立近代美術館**ガイドスタッフ**）や、教育普及担当の学芸スタッフが行います。鑑賞する作品は重要文化財を含む**所蔵作品**です。所蔵作品は、十分に作品研究がされていることや、将来にわたって繰り返し見ることができるため、鑑賞教育に特に適しているといえるでしょう。

スクール・プログラムは固定的なものではありません。先生からの相談、アイデア、ご意見も歓迎します。スクール・プログラム後の子どもたちの様子をご報告いただけることも貴重です。私たちは先生方と常に連携をとり、さらにより鑑賞教育を目指したいと考えています。



## こんな作品を鑑賞します

👉 **ジャン（ハンス）・アルプ《地中海群像》を見る**



👉 **鑑賞する所蔵作品の例**



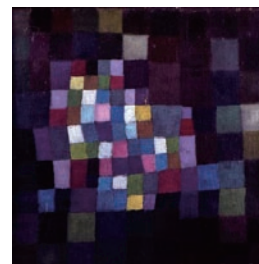
原田直次郎《騎龍観音》1890年 (醍醐寺蔵) ★



高村光太郎《手》1918年頃 撮影：坂本写真研究所



古賀春江《海》1929年



パウル・クレア《花むらく木をめぐる抽象》1925年



岸田劉生《道路と土手と堀(切通之写生)》1915年★



上村松園《母子》1934年

★：重要文化財

## 対話しながらじっくり鑑賞

### ■ スクール・ギャラリートーク

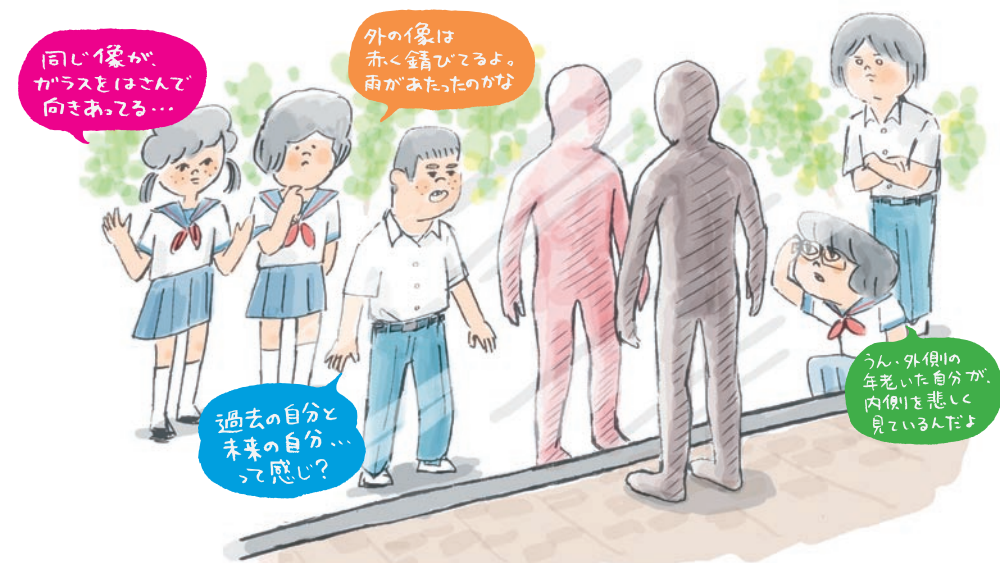
- ◎対象：小学生～大学生
- ◎人数：5人～70人
- ◎所要時間：60分～120分
- ◎申し込み方法：3週間前までにお電話ください。

10人程度のグループにわかれ、ガイドスタッフが生徒一人ひとりの発言を引き出しながら、3～4点の所蔵作品を鑑賞します。目の前の作品の造形的特徴から、自分なりのイメージを作り出すという、すべての鑑賞に通じる基礎的なトレーニングといえます。学年や作品によっては、ワークシートやクイズを用いることもあります。学習目的や経験にあわせて作品や方法を決めるので、先生との事前の打ち合わせが必要です。

#### ◎一般的な例(90分)

あいさつとマナー説明(10分)⇒ギャラリートーク3作品(45分)⇒自由に鑑賞(30分)⇒再集合してまとめ(5分)

#### 👉 アンソニー・ゴームリー 《反映/思索》を見る



#### 引率した先生の声

美術館に行ったことが一番心に残っていると答える卒業生が数人います。ぜひこれからも続けたいと考えます(小学校教諭)

やはり本物を前にした迫力に生徒たちのおどろく声がたくさん聞こえてきました(中学校教諭)

子どもたちは‘見る’楽しさ、感じたこと、考えたことを自分の言葉で話す喜びを感じているようでした(小学校教諭)

### ■ スクール・オリエンテーション

- ◎人数：5人～
- ◎所要時間：5分～10分
- ◎申し込み方法：3週間前までにお電話ください。

エントランスや前庭を使って、展示の概要やマナー、楽しく見るためのヒントなどを、短時間でお話しします。生徒の人数が多いときや、時間が限られているときなどに行います。

### ■ 修学旅行などでのグループ学習

- ◎対象：中学生～高校生
- ◎人数：5人～15人
- ◎所要時間：60分～120分
- ◎申し込み方法：3週間前までにお電話ください。

修学旅行の班別行動や、キャリア学習でのインタビューに対応します。目的やインタビュー内容は、できるかぎり生徒自身から事前に提出してください。先生が引率しない場合も、当日必ず先生と連絡が取れるようにしてください。

#### 参加した中高生の声

美術館は作品を管理する義務があり、作品一つひとつは私たちのものであるということも学びました(中学生)

作品のために、24時間、同じ温度や湿度に保たなければならないということを知り、とても驚きました(高校生)



#### 👉 安井曾太郎《金蓉》を見る

## 見ながら書き込む作品ガイド

### ■こどもセルフガイド

- ◎配布対象：小学生～中学生（無料）
- ◎所要時間：1枚5分～10分（1セット30分～60分）
- ◎利用方法：小・中学生には常時インフォメーションカウンターにて配布しています。一度に30人以上が使用する場合は、1週間前までに電話にてご連絡ください。

所蔵品ギャラリーの中で、目の前の作品を見ながら設問に答えるワークシートです。作品をもっと見たくなるような設問を工夫しながら、技法や作者の言葉なども紹介しています。オリエンテーションのみの見学の場合や、夏休みの課題などにご活用ください。



### ■企画展のセルフガイド

特に小・中学生に勧めたい企画展では、こども向けセルフガイドを作り、希望校に配布しています。これまで、ゴッホ展、藤田嗣治展、東山魁夷展、ゴーギャン展などでセルフガイドを提供し好評でした。

※配布方法はホームページ、教員用メールニュース（登録制）でご確認ください。



## 授業に役立つ鑑賞教材

### ■アートカードセット

- ◎対象：小学生～教員（研修などに）
- ◎セット内容：アートカード65枚、ルールシート、作品リスト、教員用ガイドブック
- ◎貸し出し個数・期間：原則として6セットまで、2ヶ月以内
- ◎貸し出し方法：電話による申し込み。送料のみご負担ください。



### 使用した先生の声

夢中になって遊ぶなかで、観察力や想像力、言語表現能力などの鑑賞に必要な力や、友だちの意見をよく聞くとといった鑑賞の基本的態度を、身につけることができます。国立美術館の5施設（東京国立近代美術館、東京国立近代美術館工芸館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館）の質の高いコレクションから、子どもたちに人気のある作品や、館を代表する名作など65点を選び、カードにしたものです。美術館での鑑賞の事前授業や、先生の研修にもお勧めします。

### ◎遊びかたの例と、期待できる鑑賞の力

- 似たところを見つける「**にたものつながりゲーム**」⇒色や形の特徴をとらえる力
- 質問によってカードをあてる「**名探偵ゲーム**」⇒言葉による表現力や批評力
- 「**カレンダーをつくろう**」⇒季節や自然の豊かさなどのイメージを拡げる力

美術館への期待が高まり、行って実物を見てみたいと思うきっかけができた（小学校教諭）

自分の見方や感じ方が人と違って大事にされるので、どの児童も楽しめた（小学校教諭）

「よく見てみるとすごい」「こんな見方があるのか」「気づかなかったことに気づけた」等の体験ができました。鑑賞の基本であると思われる、よく見る本質的なことへの導入に適していると思います（中学校教諭）

付属のガイドブックのテキスト「アートカード遊びの意義」が、指導案を作る際に非常に役に立ちました。書かれているとおり、生徒の「遊び」が「学習」に変わっていくところを、論理的に観察できました（中学校教諭）



## 夏休みの課題やクラブ活動に

### ■トークラリー（夏休みプログラム）

- ◎対象：小学校高学年～中学生
- ◎人数：1人～（個人参加・グループ参加）
- ◎所要時間：60分～120分
- ◎申し込み方法：募集期間内にファックスまたはメールにてお申し込みください。募集情報はホームページ、「教員用メールニュース」（登録制）でご確認ください。

子どもが展示室をめぐり、好きな作品を選んだらその前で待機しているガイドスタッフと対話しながら鑑賞するというスタイルのギャラリートークです。いわゆるツアー型のギャラリートークとは逆の仕組みを用意することで、発言がでにくい傾向にある年代の子どもたちにも楽しんで参加できるようになりました。

#### ◎トークラリーの流れ

1. 受付でエントリーシートをもらう
2. 好きな作品を選ぶ
3. 作品の近くにいるガイドスタッフにトークを申し込む
4. ギャラリートーク（各5分～10分程度）
5. 作品シールをもらってエントリーシートに貼る
6. 3作品以上シールを集めて終了



#### 参加した中学生の声

不思議だなあと思ったことなど気軽に聞けてすごく面白かったです

色々な見え方によってそれぞれの絵が違うふうに見えたり、よくみると音がきこえてきたり、絵っておもしろいと思いました

#### 引率した先生の声

いつもと違って、子どもたちの積極的に発言する姿勢が見られ、嬉しかった

他の学校の生徒たちと一緒に立ち寄っている姿も見受けられた

引率していただくだけで、生徒たちに深い美術的体験をさせてやれたと思います

## 先生もスキルアップ

### ■先生のための鑑賞講座

- ◎対象：小・中・高校の教職員
- ◎申し込み方法：募集期間内にファックス、メールにてお申し込みください。募集情報はホームページ、「教員用メールニュース」（登録制）でご確認ください。  
\* 事前申し込みと、当日の身分証明が必要です。

年に数回行われる、企画展の教職員向けプログラムです。企画展を無料で観覧できるほか、展覧会を企画した学芸員や、教育普及担当学芸員がレクチャーを行います。

### ■先生への研修

- ◎対象：小・中・高校の教員研究団体
- ◎申し込み方法：3ヶ月前から1ヶ月前までの間にお電話ください。  
\* 7～8月の研修のみ、4月より申し込みを受けつけ、調整のうえ決定します。  
\* 事前の申請により、観覧料が免除されます。

東京国立近代美術館の会議室や展示室で、図画工作科や美術科の研修会を行うことができます。鑑賞教育の事例紹介や、アートカードやギャラリートーク体験、展覧会の観覧などが可能です。

### ■その他、東京国立近代美術館が関わる研修

- 東京都図画工作研究会、東京都中学校美術教育研究会との連携研修→各研究団体のホームページ等でご確認ください。
- 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修  
独立行政法人国立美術館と文部科学省の共催により、夏季3日間で行います。参加には都道府県または政令指定都市の教育委員会による推薦が必要です。教員免許状の更新講習も兼ねています。  
→国立美術館ホームページでご確認ください。

<http://www.artmuseums.go.jp/>



[ 番外編 ]

#### 毎日の所蔵品ガイド

- ◎対象：どなたでも
- ◎日時：所蔵品展開催中の14時から約1時間

スクール・プログラムではありませんが、対話を基本にしたギャラリートークが、一般来館者向けに毎日行われています。スクール・プログラムと同様に、ガイドスタッフが案内します。スクール・ギャラリートークを検討中の方、楽しく近代日本美術に触れたい方は、ぜひご参加ください。申込不要。

## 推薦のことば

### ■ 連携にチャレンジしよう

東京都教育委員会指導主事 松永かおり



学校において美術館と連携した取り組みを行うためには、時間割の調整や協力体制および予算の確保など、たくさんの条件整備が必要です。しかし、美術館

で本物の作品に触れることが、児童・生徒に日常の授業と異なった感動を与え、大きな意味をもつということを、先生方は大いに感じていらっしゃるでしょう。

本館には、様々な連携のスタイルが用意されています。ギャラリートークや児童・生徒向けプログラムのよう実際に美術館で体験できるものもあれば、アートカード等の貸し出し教材を学校で活用することも可能です。このパンフレットをもとに、自校でできる連携の形にはどんなものがあるか、考えてみてはいかがでしょうか。学芸員の方に相談し、一緒に連携の方向性を探ることも良いでしょう。ぜひこの機会に一歩踏み出し、美術館との連携にチャレンジしてみてください。

### ■ 言葉を使いたくなる鑑賞体験を

武蔵野美術大学教授 三澤一実



新しい教育課程では、言語活動の充実がうたわれ、また、外国語活動の導入など、今までになく言葉への関心が高まっております。これらの言葉に関する学習は、

子どもたちの思考力の獲得とコミュニケーション能力の育成を目指しているのです。しかしながら、そもそも「ことば」は使いたくなる衝動がなければ声になって現れません。また、伝えたい思いをまとめることも出来ません。つまり、私たちは、言葉を使うスキルと共に、言葉を使いたくなる様な感動体験を用意することが何よりも重要なのです。

そこで、是非美術館との連携に挑戦してみてください。美術館ではギャラリートークをはじめ言語の活動をサポートする多くのプログラムが用意されています。来館できない学校にはアートカードの貸し出しなどもしております。また今まで蓄積してきた学習プログラムも数多く持っております。子どもたちの感動体験を美術館から始めてみたらどうでしょう。美術作品の鑑賞は子どもたちの情操を育てると共に、文化理解や思考力の育成にとっても有効です。

## スクール・プログラム実施概要

- ◎ 実施日時： 所蔵作品展開催中の平日。10時～16時
- ◎ 申し込み方法： それぞれの指定締切日までに、教育普及室までお電話ください。予約状況を確認したうえでファックスにてお申し込みいただき、その後確認書の返送をもって申し込みが完了します。
  - \* すべてのプログラムには受入限度があります。お受けできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
  - \* 旅行代理店等ではなく、学校からの直接の申し込みが必要です。
- ◎ 参加費(入館料) 小・中・高校生は引率教員も含めて無料。大学生は130円(20名以上70円)、キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教員は無料。
  - \* 引率教員の下見も事前連絡により無料になります。
  - \* 企画展もご覧になる場合は、企画展の観覧料が適用されます。
- ◎ 駐車場： バスでお越しの場合、当館敷地内に専用駐車場がありませんので、北の丸公園の駐車場等をご利用ください。北の丸公園駐車場：03-3214-3048
- ◎ 昼食： 飲食スペースはありません。北の丸公園などをご利用ください。
- ◎ 撮影： 「撮影シール」または「撮影腕章」を着用のうえ、撮影していただけます。フラッシュ、三脚は使用できません。
- ◎ 荷物： スクール・プログラム中は、まとめてお預かりします。少人数の場合はコインロッカー(無料)をご利用ください。
- ◎ 筆記具： 鉛筆に限ります。ワークシートを持ち込む際は、壁や展示台にあてて書き込まなくてすむような工夫をお願いします。
- ◎ その他： 事前に、<美術館での3つのルール>を学校で生徒にお伝えください。

**3つのルール：さわらない／走らない／さわがない(静かな声で)**

\* 企画展ギャラリーでのスクール・プログラムは行っておりません。





## お申し込み・お問い合わせ

### スクール・プログラムのお申し込み、お問い合わせ

教育普及室

電話：03-3214-2605（直通）

（平日の10:00～17:00）

E-mail:school@momat.go.jp

### ■教員用メールニュース

### 登録をお勧めします！

○登録方法：当館ウェブサイトから登録してください。

ホームページ→美術館トップページ→こどもと学校(スクール・プログラム)  
→登録ページ

≫ <http://www.momat.go.jp/mailmagazine/school.html>

先生のための鑑賞講座、トークラリーなどの夏休みプログラム、その他の先生向けの情報を、年に数回不定期でお知らせします。

### ■東京国立近代美術館（本館）利用案内

開館時間 10:00～17:00 金曜日20:00まで（入館は閉館30分前まで）

休館日 月曜日（祝日または振替休日に当たる場合は開館し、翌日休館）、  
年末年始、展示替期間

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩3分

ホームページ：<http://www.momat.go.jp>

ハローダイヤル：03-5777-8600

